

【奈良市社保協・公開質問状への回答 山下 真 事務所】

- ① 奈良市の国民健康保険料や医療費一部負担金の減免措置について、現行制度と運用をどのように評価されておられるか、また今後の制度と運用を見直しされるお考えがごありなのかお聞かせ下さい。

生駒市と同様に、市 HP に減免要綱の概要を開示するとともに、財源の目途が付けば、全額免除も検討します。

- ② 奈良市での短期被保険証の未発行で医療機関に受診できない無保険者の実態についての現状認識と今後の対策をお聞かせ下さい。

無保険者の医療機関受診に支障が生じているかどうかの調査を行い、対応を検討します。

- ③ 子ども医療費助成制度について、現在の奈良市の制度について見直しされるお考えがごありなのかお聞かせ下さい。

窓口での支払いをしなくて済むように、県や他市町村と協議します。

- ④ 奈良市の保育所待機児童の現状認識と、どのように解消をめざして行かれるお考えなのかお聞かせ下さい。

平成29年4月で163人の待機児童の解消は急務です。保育所の新設や定員増により4年間で待機児童を解消します。また、各保育所の定員充足率の状況を調査し、善後策を検討します。

- ⑤ 介護保険について、奈良市の保険料の設定についての考え方をお聞かせ下さい。

被保険者の保険料の負担額について、負担が重いかどうか、近隣市とのバランスなどを考慮しに、必要に応じて見直します。

- ⑥ 奈良市の特別養護老人ホームの待機者の現状と今後の解消策についてお聞かせ下さい。

待機者の解消は急務です。ニーズ調査や実態を踏まえ、グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設、老人ホームなど高齢者福祉施設を拡充します。また、在宅生活が困難で真に特養に入居する必要がある人が、優先的に特養に入居できるような制度を、行政と介護保険事業者で協議致します。

- ⑦ 奈良市のシルバーパス制度(高齢者バス優待乗車制度)と高齢者入浴補助券廃止についての見解と今後の制度運用についてのお考えをお聞かせ下さい。

現状を調査の上、必要に応じて見直します。

- ⑧ 奈良市の医療、特に救急医療と地域医療連携についての現状認識と今後すすめて行きたいと考えておられる具体的施策についてお聞かせ下さい。

本来一次医療機関を受診すべき軽症患者の方が、二次又は三次の医療機関を受診することで、二次又は三次の医療機関の重症患者への対応が不十分になってしまうことが指摘されています。こうした状況を改善するため、市民への啓発を強化致します。

- ⑨ 奈良市のに対する現状認識と、地域包括ケアシステムの確立に向けた具体的施策についてお聞かせ下さい。

奈良市においては、地域包括支援センターへの委託費が削減されたり、平成29年度に開始された介護予防・日常生活支援総合事業が不十分であったりと、地域包括ケアの体制が十分とは言えません。

高齢者本位で、行政と事業者が対等の地域ケア会議を実施します。また、介護予防・日常生活支援総合事業については、当該事業の先進市の取組を参考に、早急に福祉団体、シルバー人材センターなどと連携し、制度の趣旨やニーズに合致した事業体制を構築します。

- ⑩ 生活保護制度の支給基準の切り下げは、低所得者の住民税、保育料、年金保険料、介護保険料などの自己負担も連動して上がったり、就学援助が打ち切られることとなります。その結果、低所得勤労者世帯の中には、生活保護世帯以下の生活を強いられる可能性が出てきます。これは国民生活の最低レベルの引き下げにつながるおそれがあります。

このような生活保護支給基準の切り下げについてのお考えをお聞かせ下さい。

また奈良市の生活保護行政について現状認識と今後何らかの見直しが必要とお考えなのかお聞かせ下さい。

いわゆる「水際作戦」の有無など、現状を調査し、必要に応じて見直します。